

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)

【公表番号】特表 2008-515354 (P2008-515354A)
 【公表日】平成 20 年 5 月 8 日 (2008.5.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-018
 【出願番号】特願 2007-534799 (P2007-534799)
 【国際特許分類】

H 0 4 J 13/00 (2006.01)

H 0 4 L 25/49 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 13/00 Z

H 0 4 L 25/49 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 9 月 26 日 (2008.9.26)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

無線受信機を作動させる方法であって、

第 1 のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第 1 の複数のウェーブレットを使用して、受信した無線信号に対して第 1 の動作を実行するステップと、

前記第 1 の動作を実行した後で、第 2 のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第 2 の複数のウェーブレットを使用して、前記無線信号に対して第 2 の動作を実行するステップと、を含み、

前記第 1 のアナログ符号語フォーマットが前記第 2 のアナログ符号語フォーマットとは異なる方法。

【請求項 2】

前記第 2 の動作を実行した後で、第 3 のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第 3 の複数のウェーブレットを使用して、前記無線信号に対して第 3 の動作を実行するステップをさらに含む請求項 1 に記載の無線受信機を作動させる方法。

【請求項 3】

前記第 1 の動作が取得および同期のうち的一方であり、

前記第 2 の動作が信号トレーニングであり、

前記第 3 の動作が、データの鮮明な送信、データのセキュアな送信、および距離測定のうちの 1 つである請求項 2 に記載の無線受信機を作動させる方法。

【請求項 4】

無線デバイスであって、

複数の第 1 のマルチプレクサ入力信号を供給するための複数の格納符号語レジスタと、

第 1 のマルチプレクサ出力信号として通過させるために、前記複数の第 1 のマルチプレクサ入力信号のうちの 1 つを選択するための第 1 のマルチプレクサと、

前記第 1 のマルチプレクサから前記第 1 のマルチプレクサ出力信号を選択的に受信し、複数の第 2 のマルチプレクサ入力信号を供給するための複数の演算用符号語レジスタと、

第 2 のマルチプレクサ出力信号として通過させるために、前記複数の第 2 のマルチプレクサ入力信号のうちの 1 つを選択するための第 2 のマルチプレクサとを備え、

前記複数の演算用符号語レジスタの各々が、前記無線受信機の異なる動作中に使用するための符号語を格納する無線デバイス。

【請求項 5】

上部符号語信号として供給すべく、前記第 2 のマルチプレクサ出力信号の第 1 の部分を格納するための上部符号語レジスタと、

下部符号語信号として供給すべく、前記第 2 のマルチプレクサ出力信号の第 2 の部分を格納するための下部符号語発生器と、

前記上部および下部符号語信号と、第 3 のマルチプレクサ出力信号のうちの 1 つとを順次選択するための第 3 のマルチプレクサと、をさらに備える請求項 4 に記載の無線デバイス。